

2021 年 9 月 13 日

2021 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は金融関連、学参関連が動き前年を僅かに上回った。しかし、前々年比でみると 87.3%であり、依然厳しい状況と思われる。

巻取は生保関連や金融関連、健康食品チラシが動き、前年を大幅に上回った。しかし前々年比でみると 70%であり、かなり厳しい状況である。

（前年比 平判 102.1% 巻取 121.5%）

再生紙平判は国保関連、コロナ関連が動いたものの、前年を大幅に下回った。

巻取は年金関連冊子、失業申請書類関連が動いたが、前年を若干下回った。

前々年比では 71.7%であり、再生紙もかなり厳しい状況には変わりはない。

（前年比 再生上質平判 80.3% 再生上質巻取 96.1% 再生上質計 86.0%）

（前年比 印刷用紙 A 105.4%）

<A2 コート>

緊急事態宣言下ではあるが、平判は金融、製薬、大学関連のカatalog、パンフレットで動きがあり前年並みで推移した。巻取は生損保、食品デリバリー、通販向けのパンフレット、チラシで動きがあり前年を大幅に上回った。

一方で、オリンピックの開催や緊急事態宣言下の自粛要請による各種イベントの中止、延期で業界の印刷物案件全般の需要は減少した。（前々年比 A2 コート計 83%）

（前年比 平判 101.1% 巻取 128.4% 全体 106.7%）

<A3 コート>

百貨店、自動車関連及び食品スーパー、ドラッグストアの定期的なチラシ案件で動きがあり巻取は前年を大幅に上回った。

（前年比 平判 83.1% 巻取 147.8% 全体 122.5%）

<ノーカーボン紙>

一部歳末商戦、金融関連の動きも見られたが、昨年あった Go To トラベルの反動、生損保、一般の動きも弱く平判、巻取共に前年を下回った。

（前年比 平判 91.1% 巻取 93.5%）

<上質フォーム>

プレミアム商品券の動きが一部見られた。官庁関連の納付書、一般の動きも顕著に推移し前年を上回った。

（前年比 101.4%）

<包装用紙>

特殊両更は政府、自治体関連、また一般企業向け事務用封筒の動きが昨年と比較して大幅に落ち込み前年を大きく下回った。

(前年比 80.5%)

軽包装は脱プラによる紙への移行の動きと印刷会社向けの雑包装用途に動きが見られ前年を大きく上回った。

(前年比 141.3%)

片艶晒は封筒関連に大きな動きが見られず、店舗向けなどの手提げ袋用途も回復しておらず前年を僅かに下回った。

(前年比 97.9%)

両更晒は生命保険会社向け、金融機関向け封筒、また手提げ袋用途の動きも鈍く前年を僅かに下回った。

(前年比 97.3%)

純白ロールは土産関連や生花店向けのお盆の帰省による需要が減り前年を下回った。

(前年比 94.7%)

包装紙全体では111.2%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子関連は変わらず堅調であるが、土産関連は緊急事態宣言が明けず、厳しい状態が続いている。特板は化粧品関連などPOP、什器やテイクアウト向け、通販が好調に推移したが、チップボールは出版の巣ごもり需要も一服感があり低調であった。前年の数字が低調であったため、昨年対比は前年を上回った。

(前年比 109.8%)